

優しく強い子に！



<http://www.minamih.net/>
19・9・2(火)
南NEWS no 62

Readiness & Golden age

小学生の1年生で成人の運動神経の8割から9割が備わっていて、あらゆる技を習得するレディネスが備わっていると言います。C級の指導者講習会の最初のレクチャーで学習しました。

南の幼児・1年生達も清水コーチ・鳥取コーチの指導の下、とても楽しそうにボールを追いかけています。

小学生中学年から高学年は“ゴールデンエイジ”と言われ、指導されたことを“即座の修得”ができると言われていています。これも最初のレクチャーでした。

プレ・ゴールデンエイジの幼児・1年生達は何よりサッカーが好きになってほしいのです。そしてゴールデンエイジを迎えてほしいのです。

南の幼児・1年生達はサッカーを楽しんでいます。ご指導のおかげです！！

b y 南の安版万



8月31日(土)の午前中は由井三小の授業参観をしました。南の子どもたちもしっかりと勉強していました。

校長先生の許可を得ていたので1年生の担任の先生に南の募集のパンフレットの配布をお願いしました。

「済みません。仕事を増やしてしまっ」と言いながら。

午後は16時からの文化大Gでの練習を観ていました。

1年生と幼児は清水コーチの指導で、ボールタップから始まって、

- ①ドリブル練習 コーンに向かってアプローチしてV字, マッシュズ, ストップゴール
- ②ミニゴールヘドリブルシュート
- ③7人を3対4に分けてミニゲーム得点はシュートではなくドリブルでゴールラインを通過したら1点というルールで。
- ④親子サッカーというメニューでした。

1時間半で終わる練習でしたが、いつもお願いしているストップゴールの練習も入れた練習、ドリブル中心+シュート練習+ゲームでした。

矢上様がお願いしているメニューです。子ども達はとても楽しそうでした。



コーンに向かってドリブル

1年生のユウト君のお父さんと一緒に練習を観ていたのです。

お父さんの小西君は南の23期生、1999年の卒業生です。名ドリブラーで南の中盤を創り、攻守に活躍していたのです。

小西君と2人で南の中盤を創っていた石井君はこの年の東京都代表に入り、国際試合に出場していました。

ユウト君のお父さんが次のように言っていました。

「昔はドリブル中心の練習だったけど、あまり練習していませんね。キックももっと強く正確に蹴れるようになってほしいですね。ドリブル+シュート練習+ゲームでしたね。

みんなドリブルが上手かった。ドリブルのレベルが高ければサッカーを楽しむことができ、パスも自在ということでしたね。」

この日の1年生・幼児の練習メニューは小西大先輩が言っている昔の南の練習そのものでした。

お忙しいにも拘わらず、清水コーチは毎回のNEWSに、読みましたと必ず連絡をくださいます。

お願いのメールにも返信・感想や提言を送ってくださるのです。とても有難いです。



楽しい親子サッカー

子ども達へ

4年生の青梅招待にも帯同して

「自分たちの考えや想いで自分たちのサッカーを創ろうね」と言いました。

5年生の白百合招待に帯同したときも同じことを子ども達に話しました。

65億人分の10人、15人です。

奇跡の出会いをした仲間達と、自分たちのサッカーの創造を目指して、時に勝つ楽しさを味わうことを目指しながら、

サッカーの三間を充実させ、その営みを楽しんでほしいのです。

GAMBAノートに記録しながら、それを卒業までやり遂げられたら素晴らしいことです。

GAMBAノートは自分の成長の記録、宝物になります。

大人達はそのお手伝い、応援をします。



矢上

